

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：
合鹿製紙有限会社における
ボイラー更新事業

排出削減事業者名：合鹿製紙有限会社

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	合鹿製紙有限会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	合鹿製紙有限会社
住所	〒799-0431 愛媛県四国中央市寒川町 2523
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

合鹿製紙有限会社におけるボイラー更新事業

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、A 重油焚きボイラー2 台を LPG 焚きの高効率ボイラー2 台に更新するものである。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

合鹿製紙有限会社において、既設の A 重油焚きボイラー2 台を LPG 焚きの高効率ボイラー2 台に更新する。これによりエネルギー効率を改善し、さらに燃料を A 重油から LPG へ切り替えることにより、CO2 排出量を削減する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2013年 2月 1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年 4月 1日 ～ 2018年 1月 31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は利用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量・原単位は利用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、合鹿製紙有限会社におけるボイラー設備、及びボイラー設備から蒸気の供給を受ける設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	事業実施後のLPGガスの使用量	kg	463,140	燃料販売会社からの請求書による確認。(単位はkg)	
ε_{Pj}	更新後のボイラー効率	%	88.8	カタログ値より算出(高位発熱量時)	
ε_{BL}	更新前のボイラー効率	%	85.5	カタログ値より算出(高位発熱量時)	
$CO_2F_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料(LPG)の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/G J	0.0601	J-クレジット制度のデフォルト値	
$CO_2F_{fuel,BL}$	事業実施前燃料(A重油)の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/G J	0.0708	J-クレジット制度のデフォルト値	
$HV_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料(LPG)の単位発熱量	GJ/kg	0.0501	J-クレジット制度のデフォルト値	

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
463,140 (kg)	50.1 (MJ/kg)	0.0601 (tCO2/GJ)	1,394.5 (tCO2)
EM _{PJ}			1,394.5 (tCO2)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
24,098.9 (GJ)	-	0.0708 (tCO2/GJ)	1,706.2 (tCO2)
EM _{BL}			1,706.2 (tCO2)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
なし			
LE			

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM _{BL}	1,706.2 (tCO2)
事業実施後排出量	(7.1)	EM _{PJ}	1,394.5 (tCO2)
リークージ排出量	(7.3)	LE	0 (tCO2)
温室効果ガス排出削減量		ER	311 (tCO2)

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン－実績 (①－②)
630.4	607.0	23.4

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

$$\text{省エネ量} = 630.4 \text{ (kl)} - 607.0 \text{ (kl)} = 23.4 \text{ (kl)}$$

9 再生可能エネルギー利用量

該当なし

	モニタリング期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
	単位	エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
		(実績)	(実績)	(実績)
	t			